

走りながら夢と希望感じた

3.4.20
朝日

県スポーツ協会長 青木章泰さん

第2区間は、いの町。仁淀川橋近くの仁淀川に浮かぶ舟に聖火ランナーが乗り込んで川面を一周した。

第3区間の土佐市の国道56号（土佐市バイパス）では、中学生のころから卓球を続け、県卓球協会長と県スポーツ協会長も務める高知商工会議所会頭の青木章泰さん(78)が走った。一昨年、腰の手術を受けたため、リハビリと聖火リレーの練習を続けてきたという。

「病を乗り越え東京五輪

出場が内定した水泳の池江璃花子選手の復活に純粹に感動した。スポーツが夢と希望、感動を与えるものだと走りながら改めて感じた」

1964年の東京五輪で

は、愛媛県から高知入りした聖火リレーは4日間かけて土佐路を巡り、徳島県へつなされた。57年前の聖火ランナーは切れ目のないルートを走ったが、今回は場所も時間もとぎれとぎれのルートが設定された。

月極駐車場をお探しなら

高知市の月極駐車場

インターネットでラクラク検索 GO!

ツキグメパーキング

<http://www.tsukigme.jp/>

メイン住宅 ☎⁽⁰⁹⁹⁾834-2626